

1 基本項目	事務事業名	水族館施設整備事業				担当部署	課名	水族博物館	
	予算事業名	施設整備事業					係名	管理係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-24-4100	
	事業期間	開始年度	平成20年	終了年度	当面継続		予算科目	水族館事業特別会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	水族館費	
	総合計画	政策名	政策10. 明日を担う人づくり				項	水族館費	
	総合計画	施策名	施策30. 生涯学習の推進				目	水族館管理費	
	総合計画	基本事業名	基本事業30-3. 博物館の充実				総合計画等への記載 総合計画実施計画に記載		
	根拠法令						この事務事業が関連するその他の計画等		
	アウトソーシング導入状況	導入予定なし							

2 事業概要	事業概要	水族館施設の大規模な新規及び改修整備に関する施設改修事業	
	対象	①入館者②魚津水族館館内設備	
	手段 (活動指標)	大規模な整備に関する施設改修工事	
	意図 (成果指標)	効果的な改修を行い、今後10年にわたっての安定運営を図る。	

3 指標	指標名	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
			活動指標	①年間入館者数	人	150,000	152,152	150,000
成果指標	②							
	③							
	①入館者の前年対比	%	100.0	105.0	100.0	97.7	97.7%	100.0
②								
③								

4 コスト情報	区分	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
			支出内訳	①需用費	円			
②委託料	円							
③工事請負費	円	17,000,000		16,706,088	11,145,600	11,145,600	-33.3%	9,500,000
④負担金補助及び交付金	円							
⑤その他	円							
支出合計	(A) 円	17,000,000		16,706,088	11,145,600	11,145,600	-33.3%	9,500,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	17,000,000	16,706,088	11,145,600	11,145,600	-33.3%	9,500,000
	⑤一般財源	円						
	収入合計	円	17,000,000	16,706,088	11,145,600	11,145,600	-33.3%	9,500,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	3	50.0%	3
	②年間所要時間	時間	700	700	700	800	14.3%	800
	③人件費(②×@4,400円)(B)	円	3,080,000	3,080,000	3,080,000	3,520,000	14.3%	3,520,000
総費用(A+B)	円	20,080,000	19,786,088	14,225,600	14,665,600	-25.9%	13,020,000	

5 取組内容	平成28年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<ul style="list-style-type: none"> ○海水取水ポンプNo.1、No.2分解整備工事 ○海水取水真空ポンプ交換工事 ○魚津水族館海水送水ポンプ外更新工事 ○魚津水族館外気処理用空調機更新工事 ○海水取水ポンプ無線化装置工事 ○淡水揚水ポンプNo.1更新工事 	

6 評価	評価の視点	H27評価	H28評価	評価項目	評価結果	評価の理由		
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	市で運営しているため	
目的の妥当性					1 妥当である	劣化による入館者や職員への緊急性		
対象の妥当性					1 妥当である	入館者や職員の安全性や展示の面を考えると妥当である		
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	機器を更新することにより展示生物の適切な飼育が確保できた		
				類似事業の有無	1 なし	県内唯一の施設のため、類似施設はない		
				上位施策への貢献度	1 高い	生物展示が安全にできる。また入館者や職員の安全性が高くなる		
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	入札を適正に行っている		
				実施主体の適正化	2 改善の余地あり	設備も建築・電気・配管・機械類と多岐に渡っており設計ができる専門の職員が不在である		
				負担割合の適正化	1 適正である	市所有施設による市単独事業のため		
1次評価 (課長総括)		A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要		
今(課後)の 評価結果 及び 課題	現状においては、計画を立てても、金額が大きすぎて、実施できない修繕が多い。与えられた予算内で優先度を考えて予算要求しており、突発的に生じる修繕は補正対応している。今後、営業に支障のある大きな修繕が生じる可能性が高くなっている。				評価結果			

1 基本項目	事務事業名	水族館企画展事業				担当部署	課名	水族博物館
	予算事業名	企画展事業					係名	飼育研究係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-24-4100
	事業期間	開始年度	昭和56年	終了年度	当面継続	予算科目	会計	水族館事業特別会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	水族館費
		政策名	政策10. 明日を担う人づくり				項	水族館費
		施策名	施策30. 生涯学習の推進				目	水族館管理費
		基本事業名	基本事業30-3. 博物館の充実			総合計画等への記載	総合計画に主な事業として記載	
		根拠法令					この事務事業が関連するその他の計画等	
		アウトソーシング導入状況	導入予定なし					

2 事業概要	事業概要	担当者が世間情勢を考慮しながらテーマを選び、特別展会場を中心に年に数回開催する。
	対象	来館者
	手段(活動指標)	夏の特別展、ホタルイカ展示、シロエビ展示、クリスマス特別展示、ハロウィーン特別展示、春の特別展
	意図(成果指標)	企画展を通して、入館者は生物に対して興味がわき、知識が増える。

3 指標	指標名	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 企画展の実施回数	回	6	6	6	6	100.0%	6
	②							
	③							
成果指標	① 特別展開催期間中入場者数/年間入場者数	%	100	100	100	100	100.0%	100
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	512,000	460,939	512,000	425,089	-7.8%	550,000
	② 委託料	円	838,839	823,500	1,100,000	1,080,174	31.2%	1,500,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	285,199	60,480	263,000	43,200	-28.6%	250,000
	支出合計 (A)	円	1,636,038	1,344,919	1,875,000	1,548,463	15.1%	2,300,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	1,636,038	1,344,919	1,875,000	1,548,463	15.1%	2,300,000
	⑤ 一般財源	円						
収入合計	円	1,636,038	1,344,919	1,875,000	1,548,463	15.1%	2,300,000	
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	1,560	1,560	1,560	1,960	25.6%	1,960
	③ 人件費(②×@ 4,400円)(B)	円	6,864,000	6,864,000	6,864,000	8,624,000	25.6%	8,624,000
総費用(A+B)	円	8,500,038	8,208,919	8,739,000	10,172,463	23.9%	10,924,000	

5 取組内容	平成28年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>○夏の特別展「夏だっ！大人も子供も自由研究」</p> <p>○飼育スタッフと一緒にまわる裏方探検&餌やり体験7月と9月3日間実施(午前・午後各1回)</p> <p>○年間パスポート所有者への「感謝デー」7/23(土)17:30から 参加者 151人、対前年7月比 137%</p> <p>「うおすい×UOSUI Art Day(芸術を通して魚津の魅力を発信する団体)」とのコラボ企画 ・「貝がらにペイント」8/20(土) 2回 1個100円 ・「読みきかせ」朗読とピアノのコラボ 10/9(日) スイミー等 4回</p> <p>特別展示会場改装工事(うおすいファミリーウムに変更)</p> <p>○ハロウィーン特別展示: 富山湾大水槽をサポーターによる飾りつけを行った</p> <p>○クリスマス特別展示: 富山湾大水槽をサポーターによる飾りつけを行った</p>	

6 評価	評価の視点	H27評価	H28評価	評価項目	評価結果	評価の理由		
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	市で運営しているため	
目的の妥当性					1 妥当である	話題性・集客につながるテーマで行っている		
対象の妥当性					1 妥当である	水族館への集客につながっている		
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	多くの入館者が企画展やイベントに参加している		
				類似事業の有無	1 なし	県内唯一の施設のため、類似施設はない		
				上位施策への貢献度	1 高い	特別展を通じて入館者が生物を学べ、知識に繋がっている		
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	コスト効率が高い事業を行っている		
				実施主体の適正化	1 適正である	多くの入館者に情報を提供している		
				負担割合の適正化	1 適正である	特別展を通じて多くの入館者に生物の情報を提供しているため		
1次評価(課長総括)		A	A	計画どおり事業を実施することが適当		2次評価	不要	
今(課後)の課題及び評価結果	28年度末に、特別展会場を「うおすいファミリーウム」として、初期整備を行ったので、従来規模での特別展を行わず、企画展として、比較的小規模で行っていく。また、小さいイベントを企画して行っていくことで年パス利用者を勧誘したい。				評価結果			

1 基本項目	事務事業名	水族館博物館事業			担当部署	課名	水族博物館	
	予算事業名	博物館事業				係名	飼育研究係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-24-4100	
	事業期間	開始年度	昭和56年	終了年度		当面継続	会計	水族館事業特別会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち			会	水族館費	
	画	政策名	政策10. 明日を担う人づくり			款	水族館費	
	根拠法令	施策名	施策30. 生涯学習の推進			項	水族館管理費	
	アウツソーシング導入状況	基本事業名	基本事業30-3. 博物館の充実			目	水族館管理費	
						総合計画等への記載	総合計画に主な事業として記載	
			導入予定なし			この事務事業が関連するその他の計画等	—	

2 事業概要	事業概要	①水族館の常設展示生物の飼育・展示 ②調査研究 ③普及活動に関わること
	対象	①常設展示生物 ②入館者 ③普及活動
	手段(活動指標)	①水族館の常設展示生物の飼育・展示 ②調査研究 ③うおづ水辺の調査隊活動等
	意図(成果指標)	①水族館の展示生物をよい状態で飼育・展示ができる ②調査研究の結果を年報やホームページで公表する ③普及活動により、水生生物に対する理解が向上する

3 指標	指標名	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 展示生物	点	10,000	10,000	10,000	10,000	100.0%	10,000
	② 調査研究数	件	3	3	3	3	100.0%	3
	③ 普及活動参加人数	人	8,000	7,604	8,000	7,304	91.3%	8,000
	① 本年度展示生物数/前年度の展示生物数	%	100	100	100	123	123.0%	100
	② 論文・報告発表数	数	5	2	5	5	100.0%	5
	③ 普及活動の満足度	%	100	100	100	100	100.0%	100

4 コスト情報	区分	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	7,575,500	6,997,860	7,875,000	6,974,783	-0.3%	9,526,000
	②委託料	円			800,000	571,386		1,000,000
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円	326,000	326,000	333,000	326,000	0.0%	316,000
	⑤その他	円	1,529,801	1,392,902	1,470,000	965,756	-30.7%	1,393,000
	支出合計 (A)	円	9,431,301	8,716,762	10,478,000	8,837,925	1.4%	12,235,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	9,431,301	8,716,762	10,478,000	8,837,925	1.4%	12,235,000
	⑤一般財源	円						
	収入合計	円	9,431,301	8,716,762	10,478,000	8,837,925	1.4%	12,235,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	4	33.3%	4
	②年間所要時間	時間	1,700	1,700	1,700	2,460	44.7%	2,460
	③人件費(②×@ 4,400円)(B)	円	7,480,000	7,480,000	7,480,000	10,824,000	44.7%	10,824,000
	総費用(A+B)	円	16,911,301	16,196,762	17,958,000	19,661,925	21.4%	23,059,000

5 取組内容	平成28年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ホタルイカ展示 ○ホタルイカ専科の実施 ○イモリ・ヤモリ水槽新設(イモリとヤモリの比較展示) ○ホタルイカ発光実験開催 ○うおづ水辺の調査隊活動の実施: 今回の活動は、自分で疑問を持ち、自分で解決し発表を行った。 ○アウチリーチ活動の実施 2016水みらいプロジェクト 澁川市立東加積小学校 石田小学校(H27実施)、上中島小学校(H26実施)をサポート ○発光実験サマーバージョン2016を開催 ○水槽クリニック: 市内小学校に配布したメダカの確認と調整 ○魚津市内の淡水魚、両生爬虫類および野鳥の調査を行った。 	

6 評価	評価の視点	H27評価	H28評価	評価項目	評価結果	評価の理由			
						2次評価	不要		
妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	市で運営しているため			
				目的の妥当性	1 妥当である	話題性			
				対象の妥当性	1 妥当である	水族館への集客につながっている			
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	多くの入館者がイベントに参加している			
				類似事業の有無	1 なし	県内唯一の施設のため、類似施設はない			
				上位施策への貢献度	1 高い	特別展を通じて入館者が生物を学べ、知識に繋がっている			
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	コスト効率が高い事業を行っている			
				実施主体の適正化	1 適正である	多くの入館者に情報を提供している			
				負担割合の適正化	1 適正である	特別展を通じて多くの入館者に生物の情報を提供しているため			
	1次評価(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当		2次評価	不要		
	今後の課題及び評価結果	博物館事業は水族館の命であり、この部分の充実に力を入れるのは欠かすことができない。恒常的な展示更新や話題性のある生物展示、普及活動などを行って、情報を発信することで、魚津水族館の魅力アピールしたい。またサポーター活動をより充実して、新たな活動につなげていきたい。				評価結果			